

令和2年度（2020年度） 商工会等事業変更概要書（2回目以降）

高槻商工会議所

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
廃止	地域活性化事業	クリエイターと連携した新 ビジネス・価値創出支援事 業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたセミナー を中止した。	▲ 921,625
変更	地域活性化事業	三市一町合同就職面接会	新型コロナウイルスの感染症拡大防止の取組として3つの「密」を 避けるため、支援対象企業数を削減したため	▲ 202,000
追加	経営相談支援事 業	—	支援件数が増加したため	1,123,625

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。

2. 経費支出概要書（経費内訳）

高槻商工会議所

（単位：円）

(1) 経営相談支援事業

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	250	6,250,000		270	6,750,000		500,000	
支援機関等へのつなぎ	50	500,000		10	100,000		-400,000	
金融支援（紹介型）	15	450,000		15	450,000		0	
金融支援（経営指導型）	45	1,800,000		51	2,040,000		240,000	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	15	300,000		15	300,000		0	
記帳支援	4	100,000		4	100,000		0	
労務支援	25	500,000		20	400,000		-100,000	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	5	100,000		5	100,000		0	
販路開拓支援	55	1,100,000		9	180,000		-920,000	
事業計画作成支援	39	1,950,000		73	3,650,000		1,700,000	
創業支援	30	600,000		30	600,000		0	
事業継続計画（BCP）計画作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	0	0		0	0		0	
財務分析支援	18	180,000		18	180,000		0	
5S支援	1	10,000		1	10,000		0	
IT化支援	1	20,000		1	20,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	30	150,000		10	50,000		-100,000	
結果報告	240	2,400,000		260	2,600,000		200,000	
小 計	—	16,710,000	16,704,200	—	17,830,000	17,827,825	1,120,000	1,123,625

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	61	1,464,000		61	1,464,000		0	
金融相談	14	336,000		14	336,000		0	
経営相談	24	576,000		24	576,000		0	
専門家派遣相談	30	720,000		30	720,000		0	
税務相談	8	192,000		8	192,000		0	
確定申告相談	2	48,000		2	48,000		0	
労務相談	8	192,000		8	192,000		0	
小 計	—	3,528,000	3,528,000	—	3,528,000	3,528,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	12,850,704	別紙事業調書【変更後】のとおりのとおり	11,727,079		-1,123,625

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	0	別紙事業調書【変更後】のとおりのとおり	0		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		33,082,904		33,082,904		0

事業名		クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業	新規/継続	新規
想定する実施期間		2020 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小零細事業者が淘汰されるこの厳しい景況を切り抜けるため、また、他社との差別化を図るために、デザインの活用やブランドを構築することによって、競争力強化や販売力向上が求められている。しかし、「デザインやブランド構築に何をどのように進めたら良いかわからない」「どのくらい費用がかかるのか?」「デザイナーやクリエイターとパイプが無く、どう相談すれば良いかわからない」という声も多く見受けられる。そこで、本セミナーでは、ブランド戦略やデザイン経営に着眼し、中小企業でも取り組める事例を交えながら、デザイン、マーケティング、コンテンツといったクリエイティブ産業をどのように活用し、経営に活かせば良いのかを分かりやすく解説する。ひいては、府内中小企業の自社商品・サービスの開発に寄与することで付加価値向上に繋げると共に中小企業のデザイン力を強化する。また、デザインを発注希望の中小企業に売り込みたいクリエイター等デザイン関連事業者に対し、商談の機会を提供することでクリエイター等の育成支援にも繋げる。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、デザインを活用し、あるいはブランドを構築し、付加価値向上を図りたい中小企業経営者、小規模事業者、従業員(商品企画・マーケティング・デザイン・開発担当者)、創業予定者等、WEBデザイン事業者(クリエイター、カメラマン、ライター等)		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	厳しい競争社会で生き残るためにも、中小零細企業にとって、デザイン活用およびブランド構築によって高付加価値化を支援する意義は大きく、中小企業や小規模事業者において一定のニーズがあると考えられる。窓口・巡回相談やセミナーアンケート等においてもデザインやブランド戦略に関する要望が見受けられた。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値			
	反省点			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	<input type="radio"/> 人材育成型	■開催時期：未定、実施回数1回 ■場所：高槻商工会議所 ■実施内容 第1部：中小企業のためのコンテンツ産業活用セミナー(仮) ・売れるデザインの考え方～売れる商品企画とデザイン思考～ ・デザインを駆使した販促戦略～広告・チラシ・パッケージの役割～ ・デザインを活用した中小企業の成功事例紹介 ・ブランドとは?～付加価値、競争力とは～ ・中小企業のためのわかりやすいブランド戦略～ブランド構築で他社と差別化を図る～ ・ブランド戦略で販売力強化～値下げ競争に巻き込まれない売れる商品の作り方～ ※メビック扇町の取組や大阪府の施策等についてご案内		
	<input type="radio"/> 人材交流型			
	<input type="radio"/> 販路開拓型			
	<input type="radio"/> ハコ型	第2部：中小企業とデザイナーとの出会いの場となるマッチングの実施 ・自社商品・サービスのデザインやブランディング等の発注を希望する企業によるプレゼンと質疑 ・個別ブースを設け、プレゼン企業に売り込みたいデザイナーとの面談を実施 ※クリエイターと企業とのコミュニティづくりを支援する「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」と連携を図りながら実施する。 ■講師：未定 ※セミナー終了後、個別相談会を同時開催し、デザイン活用・ブランド戦略に関する理解を深める。		
	<input type="radio"/> 独自提案型			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果
		(a)府施策連携 大阪産業局独自事業1。大阪産業局クリエイティブ産業推進部と連携して広報、運営を行う。(d)相談事業相乗効果 個別相談会等でデザイン活用やブランド戦略によって、付加価値向上を図ろうとする企業を個別に支援する為、相談事業への相乗効果が期待できる。		

事業名		クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業				新規/継続	新規		
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 30 社	募集はチラシ、当所会報、DM、ホームページ、メルマガ等にて行う。また、大阪府等にメルマガ配信、チラシ配布について協力を依頼する。						
	支援対象企業の変化	参加企業が当セミナーを受講することによって、デザイン活用・ブランド戦略に関する基礎的知識の習得及びその経営への活用方法の意義とノウハウについて理解していただく。							
		指標	ブランド戦略やデザイン活用の必要性を学び、活用に向けて意識が向上した事業所の割合			数値目標	70%以上		
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 5 社	セミナーの参加募集と同時（もしくは事前）に、チラシ、当所会報、DM、ホームページ、メルマガ等にてデザイン事業者にデザイン等を発注したい中小企業を募集する。また、大阪府等にメルマガ配信、チラシ配布について協力を依頼する。						
	支援対象企業の変化	自社商品・サービスのデザインやブランディング等の発注を希望する中小企業と、それに対し売り込みたいデザイン等の事業者を引き合わせるマッチング（面談）の機会を設ける。商談（面談）件数は、プレゼン企業1社につき5件の目標設定⇒プレゼン企業5社×5件=25件とする。							
その他目標値	目標値の内容⇒ 25	商談（面談）件数				数値目標	25		
算定基準により算出される額	算定基準 （行が足りない場合は、⇒の行に挿入）	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		⇒ 20,200 円 ×		30	×	1.00	=	606,000 円	
		50,500 円 ×		5	×	1.00	=	252,500 円	
		50,500 円 ×		25	×	0.05	=	63,125 円	
							(小計)	921,625 円	
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%）						円	
						計	921,625 円		
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 （基準どおりの場合不要）									
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等						
	②受益者負担	円	負担金の積算						
	○ (a)府施策連携		(b)広域連携		(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果			
	標準事業費	補助率		(①市町村等+②受益者負担)					
	921,625 円 ×	1.00	=	921,625 円	(円)				
補助金の団体配分 （「代」欄には、中核団体または比邻ガで説明する代表団体に○）	代	商工会・会議所名	配分額		役割（配分の考え方）				
			円						
			円						
			円						
			円						

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業	新規/継続	新規
想定する実施期間		2020 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのよ うな状態にしたいか)	中小零細事業者が淘汰されるこの厳しい景況を切り抜けるため、また、他社との差別化を図るために、デザインの活用やブランドを構築することによって、競争力強化や販売力向上が求められている。しかし、「デザインやブランド構築に何をどのように進めたら良いかわからない」「どのくらい費用がかかるのか?」「デザイナーやクリエイターとパイプが無く、どう相談すれば良いかわからない」という声も多く見受けられる。そこで、本セミナーでは、ブランド戦略やデザイン経営に着眼し、中小企業でも取り組める事例を交えながら、デザイン、マーケティング、コンテンツといったクリエイティブ産業をどのように活用し、経営に活かせば良いのかを分かりやすく解説する。ひいては、府内中小企業の自社商品・サービスの開発に寄与することで付加価値向上に繋げると共に中小企業のデザイン力を強化する。また、デザインを発注希望の中小企業に売り込みたいクリエイター等デザイン関連事業者に対し、商談の機会を提供することでクリエイター等の育成支援にも繋げる。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、デザインを活用し、あるいはブランドを構築し、付加価値向上を図りたい中小企業経営者、小規模事業者、従業員(商品企画・マーケティング・デザイン・開発担当者)、創業予定者等、WEBデザイン事業者(クリエイター、カメラマン、ライター等)		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	厳しい競争社会で生き残るためにも、中小零細企業にとって、デザイン活用およびブランド構築によって高付加価値化を支援する意義は大きく、中小企業や小規模事業者において一定のニーズがあると考えられる。窓口・巡回相談やセミナーアンケート等においてもデザインやブランド戦略に関する要望が見受けられた。		
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値			
	反省点			
具体的 な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのよ うにす るのかを 明確に)	<input type="radio"/> 人材育成型	■開催時期：未定、実施回数1回 ■場所：高槻商工会議所 ■実施内容 第1部：中小企業のためのコンテンツ産業活用セミナー(仮) ・売れるデザインの考え方～売れる商品企画とデザイン思考～ ・デザインを駆使した販促戦略～広告・チラシ・パッケージの役割～ ・デザインを活用した中小企業の成功事例紹介 ・ブランドとは?～付加価値、競争力とは～ ・中小企業のためのわかりやすいブランド戦略～ブランド構築で他社と差別化を図る～ ・ブランド戦略で販売力強化～値下げ競争に巻き込まれない売れる商品の作り方～ ※メビック扇町の取組や大阪府の施策等についてご案内		
	人材交流型			
	<input type="radio"/> 販路開拓型	第2部：中小企業とデザイナーとの出会いの場となるマッチングの実施 ・自社商品・サービスのデザインやブランディング等の発注を希望する企業によるプレゼンと質疑 ・個別ブースを設け、プレゼン企業に売り込みたいデザイナーとの面談を実施 ※クリエイターと企業とのコミュニティづくりを支援する「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」と連携を図りながら実施する。		
	ハズ ち型	■講師：未定 ※セミナー終了後、個別相談会を同時開催し、デザイン活用・ブランド戦略に関する理解を深める。		
	独自提案型			
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果
	(a)府施策連携 大阪産業局独自事業1。大阪産業局クリエイティブ産業推進部と連携して広報、運営を行う。(d)相談事業相乗効果 個別相談会等でデザイン活用やブランド戦略によって、付加価値向上を図ろうとする企業を個別に支援する為、相談事業への相乗効果が期待できる。			

事業名		クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業				新規/継続	新規
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 30 社	募集はチラシ、当所会報、DM、ホームページ、メルマガ等にて行う。また、大阪府等にメルマガ配信、チラシ配布について協力を依頼する。				
	支援対象企業の変化	参加企業が当セミナーを受講することによって、デザイン活用・ブランド戦略に関する基礎的知識の習得及びその経営への活用方法の意義とノウハウについて理解していただく。					
	指標	ブランド戦略やデザイン活用の必要性を学び、活用に向けて意識が向上した事業所の割合			数値目標	70%以上	
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 5 社	セミナーの参加募集と同時（もしくは事前）に、チラシ、当所会報、DM、ホームページ、メルマガ等にてデザイン事業者にデザイン等を発注したい中小企業を募集する。また、大阪府等にメルマガ配信、チラシ配布について協力を依頼する。				
	支援対象企業の変化	自社商品・サービスのデザインやブランディング等の発注を希望する中小企業と、それに対し売り込みたいデザイン等の事業者を引き合わせるマッチング（面談）の機会を設ける。商談（面談）件数は、プレゼン企業1社につき5件の目標設定⇒プレゼン企業5社×5件＝25件とする。					
その他目標値	目標値の内容⇒ 25	プレゼン企業1社につき5件の目標設定⇒プレゼン企業5社×5件＝25件とする。					
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費		
	⇒	20,200 円 ×	30 ×	1.00 =	606,000 円		
		50,500 円 ×	5 ×	1.00 =	252,500 円		
		50,500 円 ×	25 ×	0.05 =	63,125 円		
		(小計)			921,625 円		
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%）					円	
	計					921,625 円	
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等				
	②受益者負担	円	負担金の積算				
	○ (a)府施策連携	(b)広域連携	(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果			
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
	921,625 円 ×	1.00 =	921,625 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体または比隣で説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割（配分の考え方）			
			円				
			円				
			円				
			円				

【備考】新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの同時流行の懸念があることから感染拡大防止策を講じ得ないため、開催を中止

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

高槻商工会議所

事業名

クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

支援企業
数(実績)

支援
実績率

#DIV/0!

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

本事業の実施にあたり、高槻商工会議所の会議室において、集合セミナー等を予定していた。しかしながら、会場内に不特定多数が集まり、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために国から示された『人ごみなど、多くの人の「密」集する場所、換気の悪い「密」閉空間、近距離での「密」接した会話』といった3つの「密」を避けることが難しい状況であることが判明した。

当初は令和2年秋頃の開催で検討しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて令和3年1月～2月開催予定で延期・調整していたが、令和2年10月7日に大阪産業局の担当者と協議した結果、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの同時流行の懸念があることから感染拡大防止策のため、「クリエイターと連携した新ビジネス・価値創出支援事業」の開催を中止することとした。

感染推移・状況を注視しながら次年度に改めて開催したい意向である。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】

事業名		三市一町合同就職面接会		新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府の2019年10月の有効求人倍率は1.78と全国(1.57)の中でもとりわけ高い。しかし、完全失業率は2.9%(同年7月～9月)と全国値2.3%に比べると高い値となっている(大阪労働局及び大阪府調べ)。そのような中、地元の中小零細企業にとっては単独で求人を募集しても有能な人材の確保は難しく実際に相談も多い。そのような両者を結び付ける機会を三市一町の自治体および会議所・商工会が連携するによって提供し、当地域の中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とする。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、32社の中小企業及び求職者100名			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	過去の三市一町合同就職面接会参加企業のアンケート結果から「費用や時間をかけずに採用活動を行いたい」との声があり、参加を希望する企業も引続き多い状況が続いている。また、中小零細企業の多くは単独で就職面接会を行うだけの知名度や余裕がなく、人材確保に苦慮している相談も多く寄せられている現状からニーズは高い。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績 数値	2020年1月24日(金)に摂津市コミュニティプラザにて開催予定。面接会では、企業募集枠28社に対して52社の応募があるなど、大きな需要がある。同時開催として、「セブン-イレブン シニア向けお仕事説明会」「近畿財務局出前講座」、その他各種相談会等を実施予定で、来場者増の対策を図っている。			
	反省点	有効求人倍率の上昇や失業率低下の影響か、全体の求職者数は目標値より少なかったことが反省点であるが、現状、来場者が何名となるかは不明である。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	高槻商工会議所・茨木商工会議所・摂津市商工会・島本町商工会による共催で実施予定。4団体が主に求人企業の募集を担い連携を図ることによって、求人企業及び求職者の参加を促進し、相乗効果により地域の雇用環境の改善に貢献する。 開催時期：2021年1月頃を予定 会場：高槻現代劇場文化ホールの予定 内容：メインの合同就職面接会は13時～16時の間に実施。相談コーナーの開設などを同時開催する予定である。 内容は共催団体と協議し求職者のニーズに合ったものを実施する。2019年度は「シニア向けお仕事説明会」「近畿財務局出前講座」「福祉のお仕事相談」「中高年者雇用促進フェア」を開催			
	○ 人材交流型				
	販路開拓型				
	ハブ型				
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携 <input type="radio"/> (b)広域連携 <input type="checkbox"/> (c)市町村連携 <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 (a)府施策連携労9番 求人・求職マッチング事業による (b)広域連携 4団体が主に求人企業の募集を担当。広域連携にすることにより、中小企業が通常力カバーできない地域での人材の発掘や採用活動を行う。				
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	会場収容能力を考慮し支援企業数を設定。DMチラシや各商工会議所・商工会の会報、ホームページ上にて募集案内、巡回や電話による告知と募集を行う。		
		32 社			
	支援対象企業の変化	当該面接会に参加し、求人を確保することによって、長期的な計画で事業活動を行うことができ、ひいては企業の成長が見込まれる。また4自治体、4団体が連携することで、採用活動の地域を拡げ、有能な人材の確保に繋げることができる。ここでは、当面接会を利用し採用まで至った企業数を指標とする。			
		指標	参加企業のうち採用に至った企業数	数値目標	10
その他目標値	目標値の内容→				
	100 名	来場者(来場された方へのアンケートなどで把握)			

事業名		三市一町合同就職面接会					新規/継続	継続		
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費		
		40,400 円 ×		32 ×		1.00 =		1,292,800 円		
		40,400 円 ×		100 ×		0.05 =		202,000 円		
(小計)								1,494,800 円		
※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)										
計								1,494,800 円		
算定基準 による算出される額	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)									
	①市町村等補助		円		交付市町村等					
	②受益者負担		円		負担金の積算					
	<input type="checkbox"/>	(a)府施策連携	<input type="checkbox"/>	(b)広域連携	<input type="checkbox"/>	(c)市町村連携	<input type="checkbox"/>	(d)相談事業相乗効果		
	標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)			
1,494,800 円 ×			1.00 =			1,494,800 円 (円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体または「リソク」で説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)				
	○	高槻商工会議所		467,125 円		支援企業数で配分、高槻10社、茨木10社、摂津10社、島本2社で計算。				
		茨木商工会議所		467,125 円						
		摂津市商工会		467,125 円						
		島本町商工会		93,425 円						
			円							

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		三市一町合同就職面接会		新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府の2019年10月の有効求人倍率は1.78と全国(1.57)の中でもとりわけ高い。しかし、完全失業率は2.9%(同年7月～9月)と全国値2.3%に比べると高い値となっている(大阪労働局及び大阪府調べ)。そのような中、地元の中小零細企業にとっては単独で求人を募集しても有能な人材の確保は難しく実際に相談も多い。そのような両者を結び付ける機会を三市一町の自治体および会議所・商工会が連携するによって提供し、当地域の中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とする。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、 16 社の中小企業及び求職者100名			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	過去の三市一町合同就職面接会参加企業のアンケート結果から「費用や時間をかけずに採用活動を行いたい」との声があり、参加を希望する企業も引き続き多い状況が続いている。また、中小零細企業の多くは単独で就職面接会を行うだけの知名度や余裕がなく、人材確保に苦慮している相談も多く寄せられている現状からニーズは			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績 数値	2020年1月24日(金)に摂津市コミュニティプラザにて開催。面接会では、企業募集枠28社に対して52社の応募があるなど、大きな需要がある。 支援対象企業数は26社。 同時開催として、「セブン-イレブン シニア向けお仕事説明会」「近畿財務局出前講座」その他各種相談会を実施し、来場者は76名であった。			
	反省点	有効求人倍率の上昇や失業率低下の影響か、全体の求職者数は目標値より少なかったことが反省点である。 また、直前で2社が参加をキャンセルされたことも影響したと思われる。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	高槻商工会議所・茨木商工会議所・摂津市商工会・島本町商工会による共催で実施予定。4団体が主に求人企業の募集を担い連携を図ることによって、求人企業及び求職者の参加を促進し、相乗効果により地域の雇用環境の改善に貢献する。 コロナ禍の折、三密を避けるため、原則予約制で求職者を募集し、会場ブースは距離を取って配置する予定である。			
	人材交流型				
	販路開拓型	開催時期：2021年1月27日(水) 会場：高槻現代劇場文化ホール 内容：メインの合同就職面接会は13時～16時の間に実施。 また、各種相談コーナー(中高年齢者就労相談、シルバー人材センター相談、等)を開設予定である。また、「スーツの着こなしセミナー」「近畿財務局出前講座」を開催予定。			
	ハズカ型				
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携 <input type="radio"/> (b)広域連携 <input type="radio"/> (c)市町村連携 <input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果 (a)府施策連携労9番 求人・求職マッチング事業による (b)広域連携 4団体が主に求人企業の募集を担当。広域連携にすることにより、中小企業が通常カバーできない地域での人材の発掘や採用活動を行う。				
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	当初は32社で申請したが、コロナ禍の折、三密を避けるため、十分に距離を保てることを前提に支援企業数を設定。 DMチラシや各商工会議所・商工会の会報、ホームページ上にて募集案内、巡回や電話による告知と募集を行う。		
	支援対象企業の変化	16 社	当該面接会に参加し、求人を確保することによって、長期的な計画で事業活動を行うことができ、ひいては企業の成長が見込まれる。また4自治体、4団体が連携することで、採用活動の地域を拡げ、有能な人材の確保に繋げることができる。ここでは、当面接会を利用し採用まで至った企業数を指標とする。 なお、支援対象企業数を半分としたため、下記指標を下げている。		
	その他目標値	指標	参加企業のうち採用に至った企業数	数値目標	5
	目標値の内容→	来場者(来場された方へのアンケートなどで把握)			
	100 名				

事業名		三市一町合同就職面接会					新規/継続	継続	
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		⇒ 40,400 円 ×		16	×	1.00	=	646,400 円	
		40,400 円 ×		100	×	0.05	=	202,000 円	
					×		=		
	(小計)							848,400 円	
	新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)								円
	計							848,400 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不)								
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等				
		②受益者負担		円	負担金の積算				
○		(a)府施策連携	○	(b)広域連携	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果			
標準事業費			補助率		(①市町村等+②受益者負担)				
848,400 円 ×			1.00	=	848,400 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
	○	高槻商工会議所	265,125 円		支援企業数で配分、高槻5社、茨木5社、摂津5社、島本1社で計算。				
		茨木商工会議所	265,125 円						
		摂津市商工会	265,125 円						
		島本町商工会	53,025 円						
		円							

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

高槻商工会議所

事業名

三市一町合同就職面接会

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

支援企業
数(実績)

支援
実績率

#DIV/O!

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

本事業の実施にあたり、高槻市現代劇場において、合同企業面接会を予定していた。しかしながら、会場内に不特定多数が集まることから、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために国から示された『人ごみなど、多くの人の「密」集する場所、換気の悪い「密」閉空間、近距離での「密」接した会話』といった3つの「密」を避けることが求められる。

そこで、府担当者、各市担当者、ハローワーク茨木担当者の関係団体と調整した結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策のため、令和3年1月27日開催予定の「三市一町合同就職事業」について、支援対象企業数を32社から16社に削減し、企業ブースの間隔をとりながら開催することにした。また、来場者は、基本事前予約制にて参加してもらう予定である。

【効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】